

【別冊】各市町村の状況 — 倉吉市

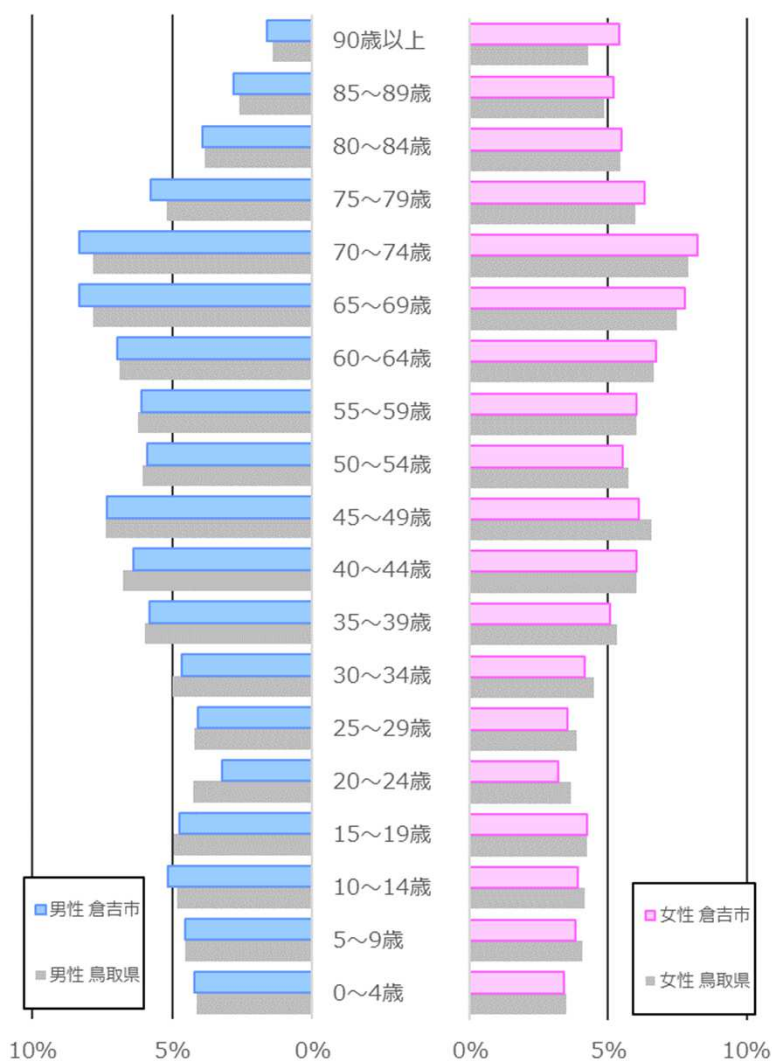
1. 概要

人口総数	46,044人
高齢化率	34.8%

	国保	後期
被保険者数	9,249人	8,535人
加入率	20.1%	18.5%
平均年齢	55.6歳	82.9歳

出典: KDB帳票No. 3 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題（令和5年度累計）

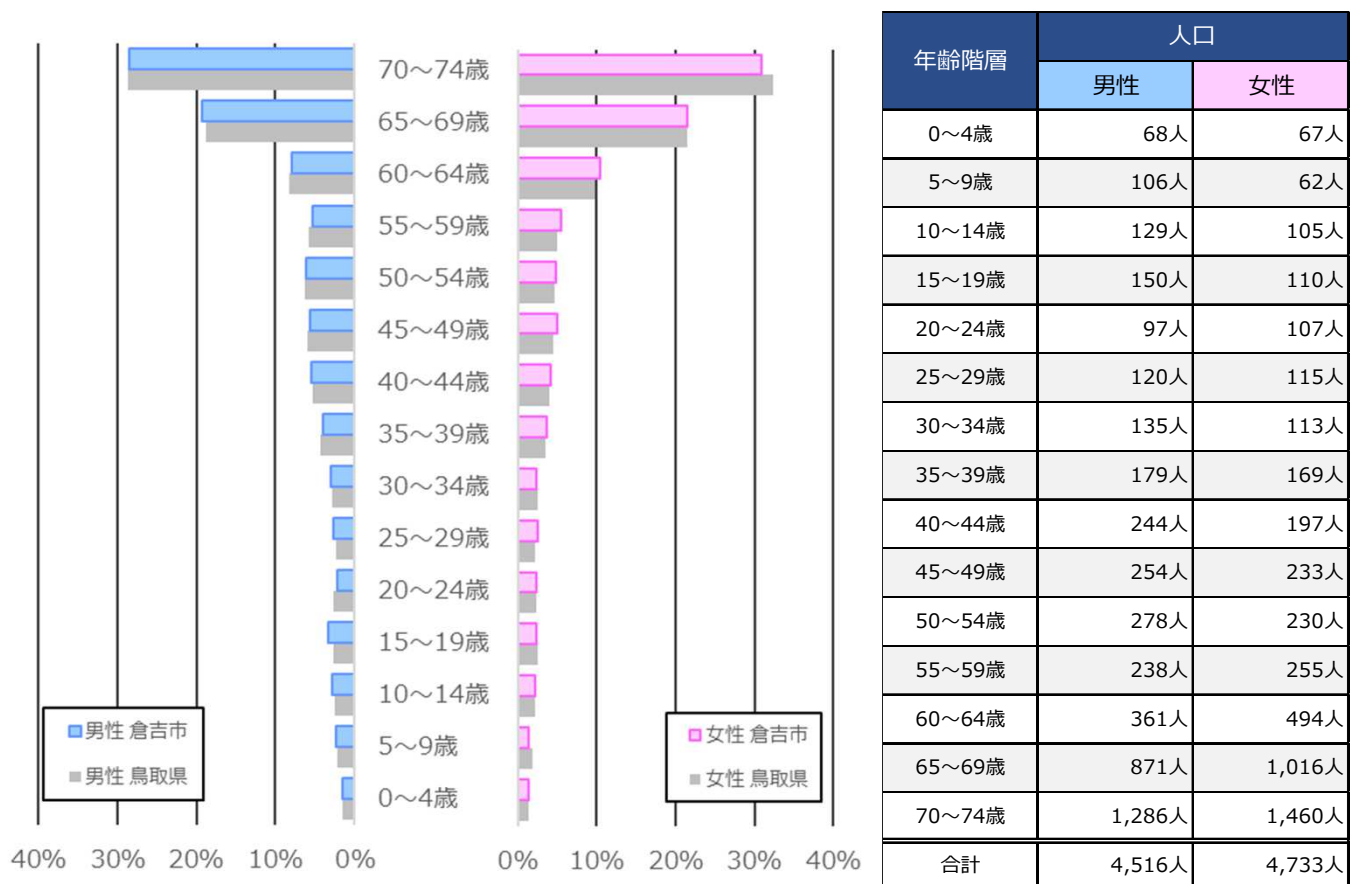
■ 人口ピラミッド（令和2年度）



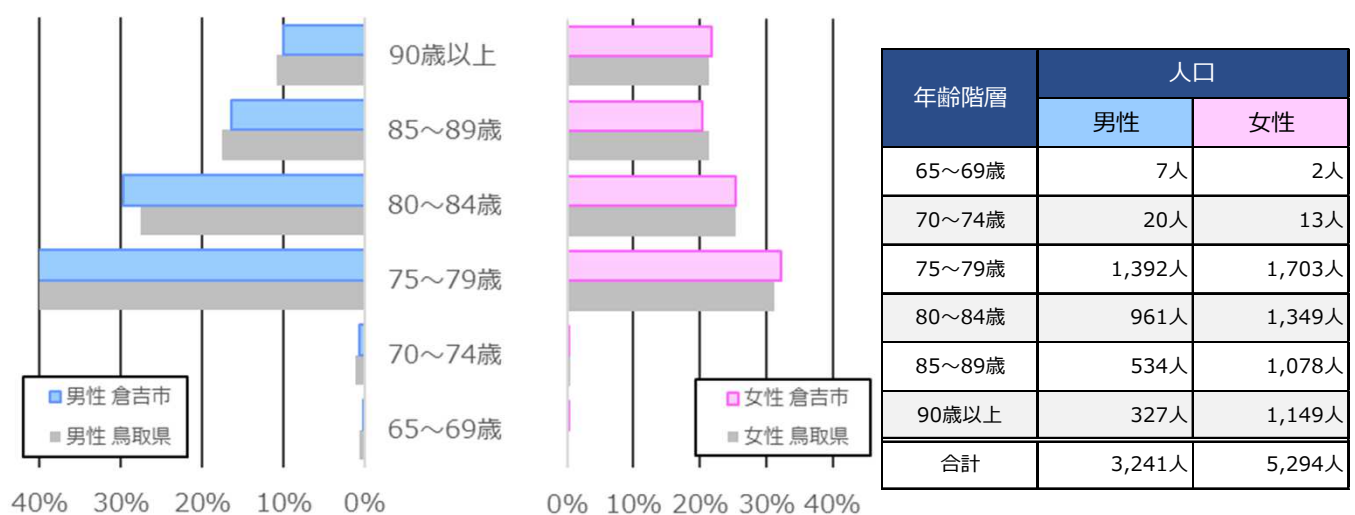
年齢階層	人口	
	男性	女性
0～4歳	908人	831人
5～9歳	984人	930人
10～14歳	1,115人	955人
15～19歳	1,026人	1,038人
20～24歳	693人	780人
25～29歳	884人	858人
30～34歳	1,005人	1,018人
35～39歳	1,252人	1,241人
40～44歳	1,382人	1,471人
45～49歳	1,586人	1,497人
50～54歳	1,269人	1,348人
55～59歳	1,320人	1,469人
60～64歳	1,505人	1,645人
65～69歳	1,800人	1,899人
70～74歳	1,793人	2,012人
75～79歳	1,242人	1,544人
80～84歳	848人	1,344人
85～89歳	610人	1,269人
90歳以上	348人	1,325人
合計	21,570人	24,474人

出典: KDB帳票No. 5 人口及び被保険者の状況（令和5年度累計）

国保 国保被保険者数ピラミッド



後期 後期被保険者数ピラミッド



出典: KDB帳票No. 5 人口及び被保険者の状況 (令和5年度累計)

2. 標準化死亡比 (SMR) 説明②

■ 主要死因別標準化死亡比SMRの推移

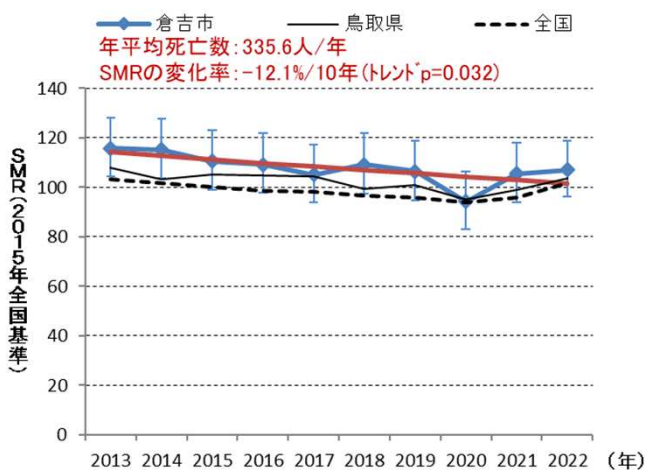
- 2015年の全国を100として、**青色** = 毎年の値、**赤色** = それを平滑化した値（「10年間の値をプールしてSMRを計算し、経年的な変化の傾きを付けたもの」と比較しています。主に赤色の方に注目して見ます。
- トレンドpは、「変化が偶然である確率」を意味し、 $p < 0.05$ の場合に、偶然変動とはみなせない変化があると判断します。

※全国（2015年）= 100よりも上方で推移していれば全国（2015年）よりも死亡者の割合が高く、下方で推移していれば低いことを意味します。

※全国（黒線）と同じ傾きで推移していれば全国と同じ状況にあり、全国が右肩上がりとなっている中で、全国よりも傾きが急な右肩下がりであれば、全国よりも早いペースで改善していることになります。また、右肩上がりであれば、全国よりも改善のペースが遅いまたは悪化していることを示すことになります。

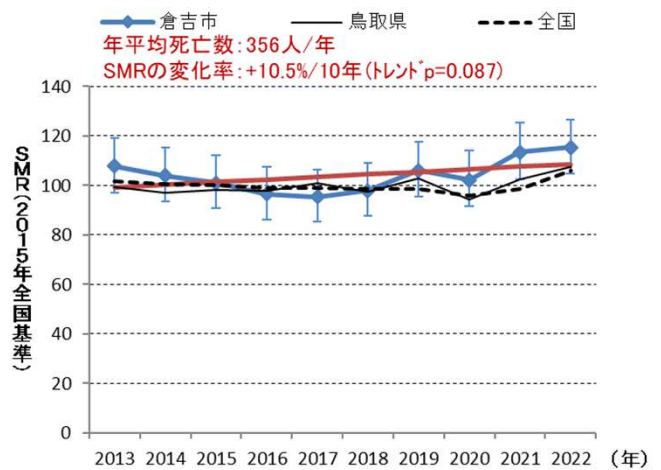
■ 【男性】

【全死因】

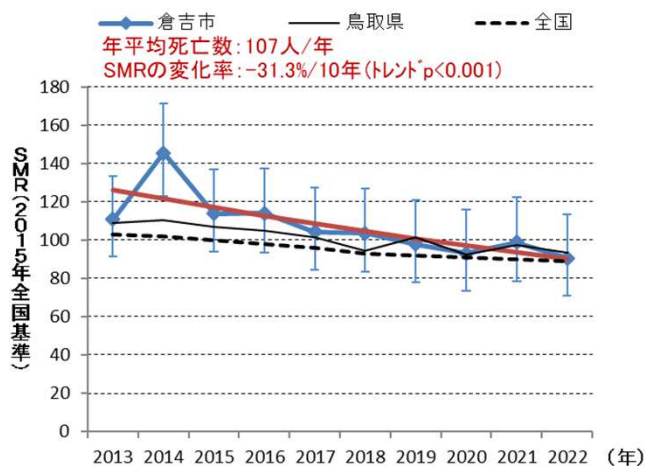


■ 【女性】

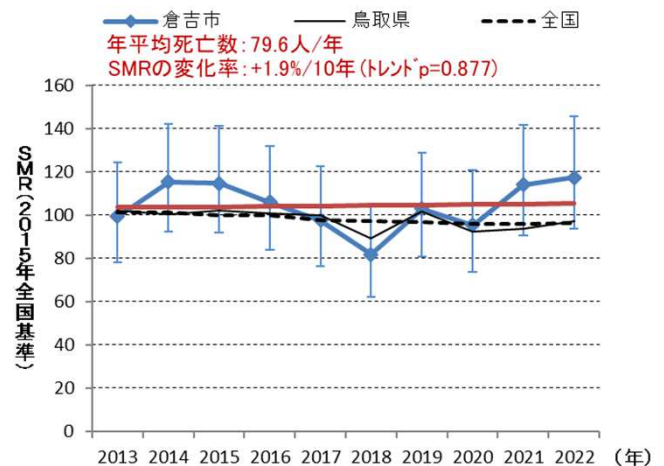
【全死因】



【悪性新生物】

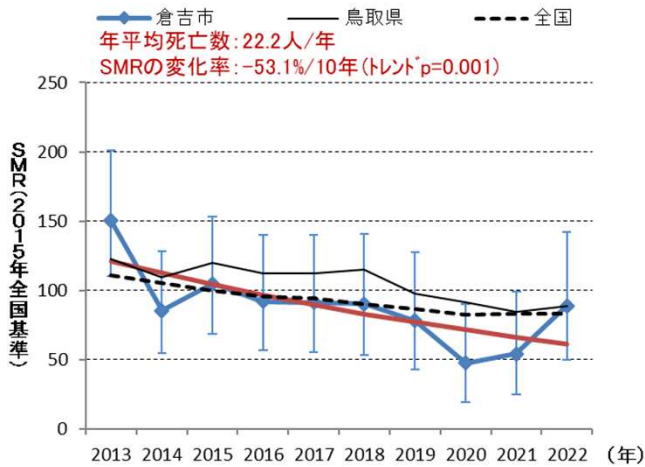


【悪性新生物】



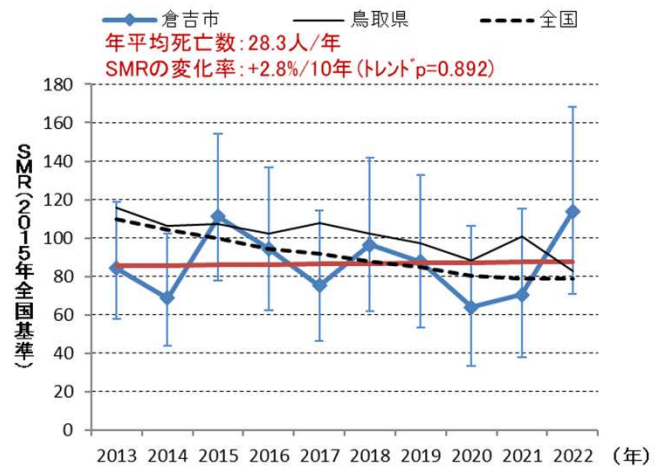
■【男性】

【脳血管疾患】

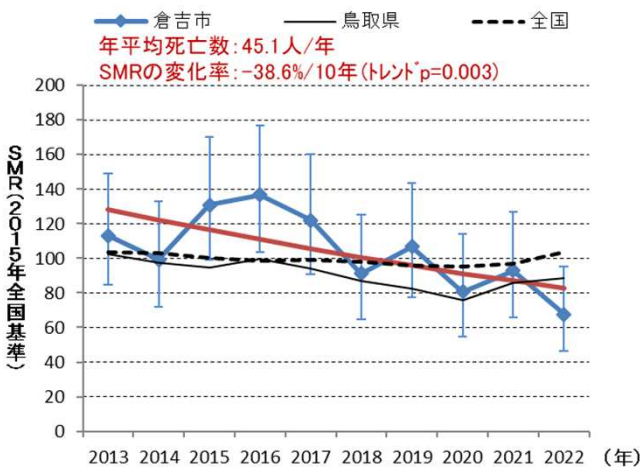


■【女性】

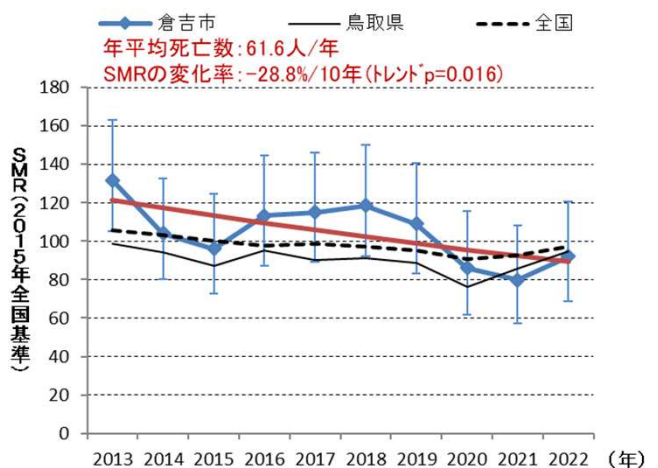
【脳血管疾患】



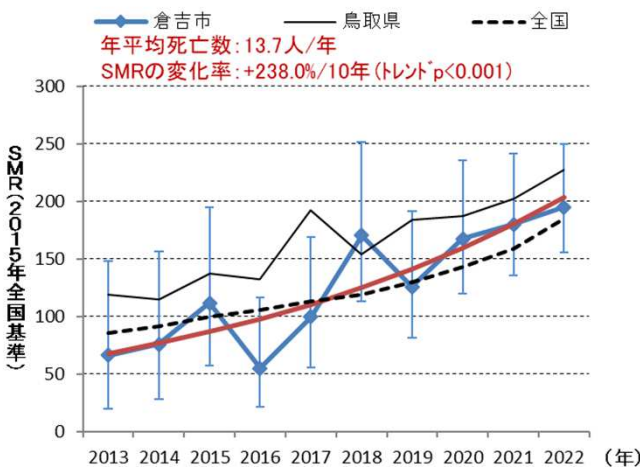
【心疾患(高血圧性を除く)】



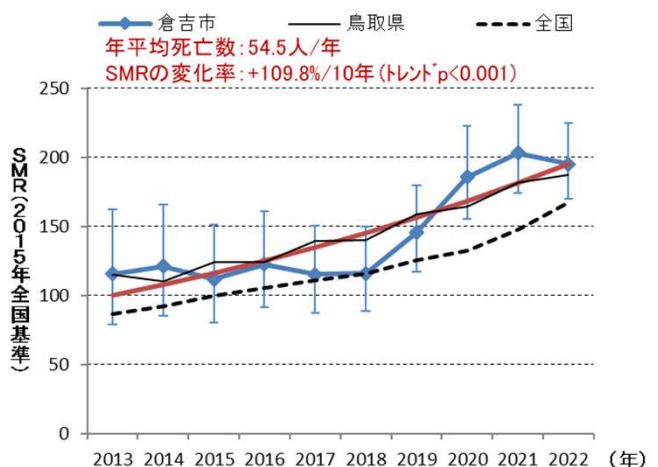
【心疾患(高血圧性を除く)】



【老衰】



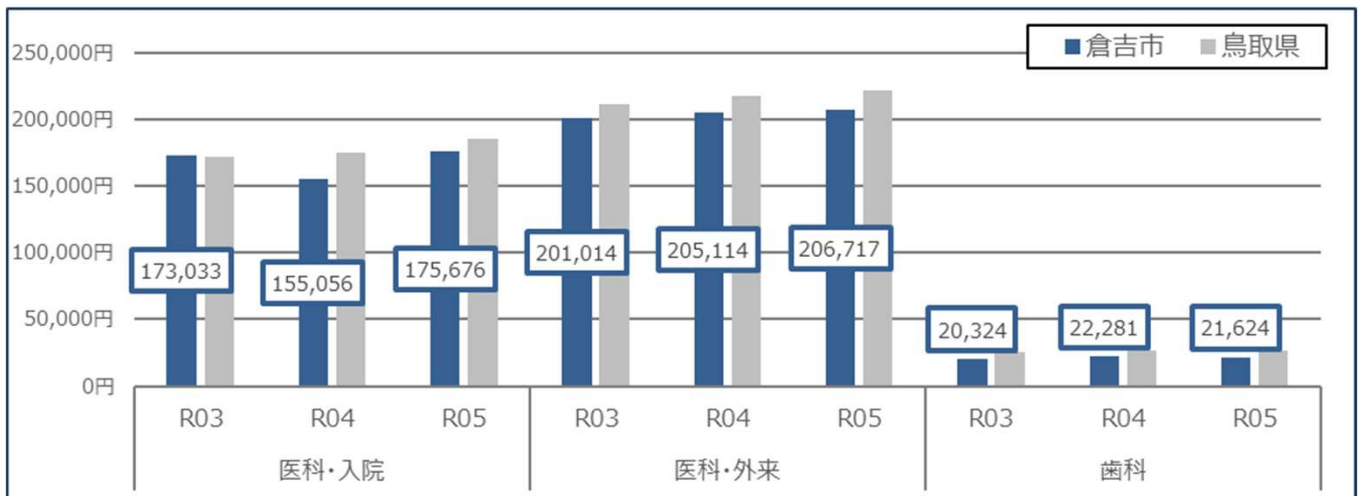
【老衰】



出典: 国立保健医療科学院
地方自治体における生活習慣病関連の健康課題把握の為に参考データ・ツール集
「全国市町村別主要死因別標準化死亡比 (SMR) の推移2013~2022」抜粋

3. 医療費の状況

国保 被保険者 1 人当たり年間医療費



※ 医科・外及び歯科は、各レセプトとそれに紐づく調剤レセプトが対象である。
出典:KDB帳票No.4 市区町村別データ（各年度累計）

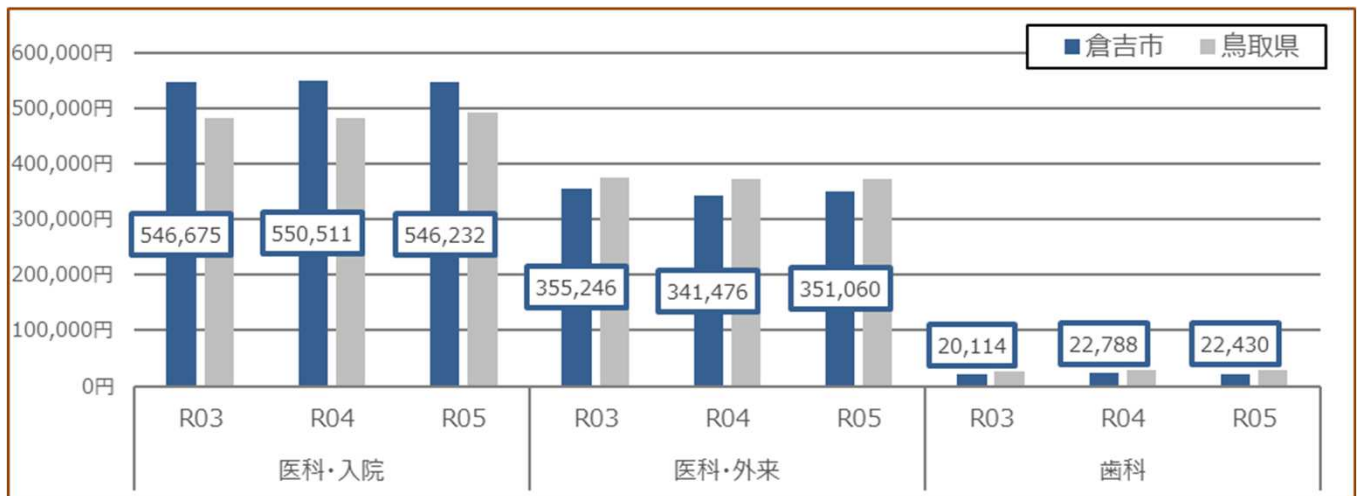
国保 疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費（3 年平均）

（単位:円）

番号	疾病大分類	医科・入院		医科・外来 + 調剤	
		男性	女性	男性	女性
1	感染症及び寄生虫症	1,305 16位	1,046 15位	4,861 12位	3,942 12位
2	新生物＜腫瘍＞	52,582 1位	33,414 1位	38,395 1位	31,047 1位
3	血液及び造血系の疾患 並びに免疫機構の障害	2,006 13位	1,701 13位	435 16位	1,174 16位
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	2,390 11位	1,738 12位	27,970 3位	25,357 2位
5	精神及び行動の障害	18,870 3位	14,855 4位	14,535 5位	14,811 6位
6	神経系の疾患	12,957 7位	9,784 5位	10,205 8位	11,363 7位
7	眼及び付属器の疾患	3,636 10位	3,871 9位	7,336 10位	8,732 10位
8	耳及び乳様突起の疾患	89 18位	243 17位	898 15位	1,192 15位
9	循環器系の疾患	34,620 2位	15,955 3位	27,809 4位	20,590 4位
10	呼吸器系の疾患	16,016 4位	3,047 10位	14,255 6位	11,159 8位
11	消化器系の疾患	13,972 6位	5,677 8位	11,026 7位	10,863 9位
12	皮膚及び皮下組織の疾患	1,389 15位	1,241 14位	5,056 11位	4,009 11位
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	15,867 5位	16,861 2位	8,829 9位	20,964 3位
14	尿路性器系の疾患	7,656 9位	5,974 7位	33,883 2位	16,619 5位
15	妊娠、分娩及び産じょく	0 19位	546 16位	1 19位	145 17位
16	周産期に発生した病態	1,823 14位	117 19位	36 18位	48 19位
17	先天奇形、変形及び染色体異常	192 17位	127 18位	222 17位	60 18位
18	症状、徴候及び異常臨床検査所見 で他に分類されないもの	2,335 12位	2,118 11位	1,658 14位	2,051 14位
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	8,147 8位	8,904 6位	2,484 13位	2,288 13位
合計		195,852	127,219	209,894	186,414

※傷病名不詳等の疾病分類できないレセプトは集計対象外としている。
出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析（大分類）（令和3年度～令和5年度）

後期 被保険者 1 人当たり年間医療費



※ 医科・外及び歯科は、各レセプトとそれに紐づく調剤レセプトが対象である。
出典:KDB帳票No.4 市区町村別データ (各年度累計)

後期 疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費 (3 年平均)

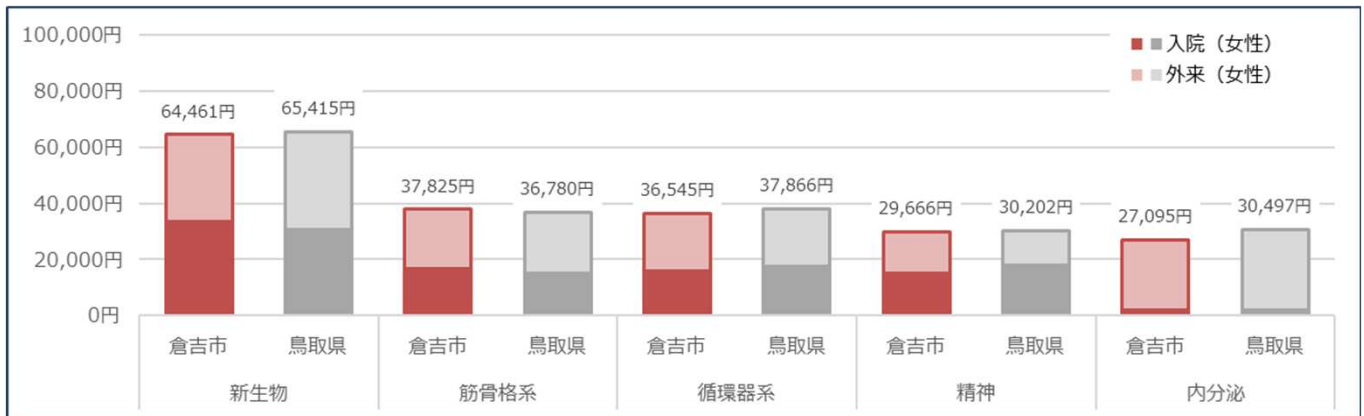
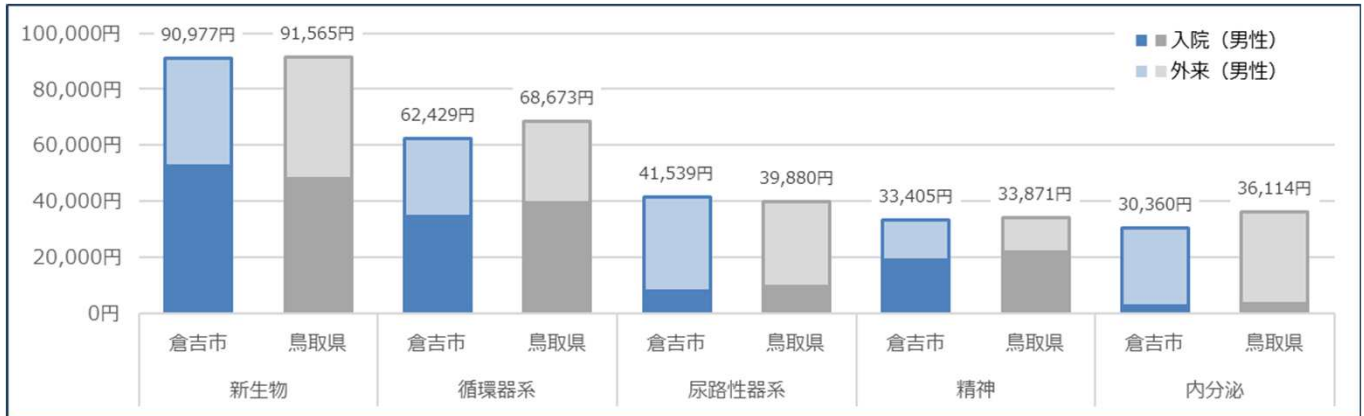
(単位:円)

番号	疾病大分類	医科・入院		医科・外来 + 調剤	
		男性	女性	男性	女性
1	感染症及び寄生虫症	4,449 15位	5,225 13位	5,883 10位	5,195 11位
2	新生物<腫瘍>	92,416 2位	37,434 6位	80,907 1位	27,507 5位
3	血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	6,579 13位	2,755 15位	1,121 16位	987 16位
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	7,518 11位	7,001 11位	45,338 4位	39,415 2位
5	精神及び行動の障害	17,210 9位	22,843 8位	3,472 13位	6,434 10位
6	神経系の疾患	41,618 6位	39,476 5位	22,048 6位	22,706 7位
7	眼及び付属器の疾患	6,675 12位	5,865 12位	17,935 8位	15,315 8位
8	耳及び乳様突起の疾患	229 16位	726 16位	1,138 15位	1,156 15位
9	循環器系の疾患	123,497 1位	123,522 1位	77,336 2位	64,380 1位
10	呼吸器系の疾患	78,479 3位	42,029 4位	27,161 5位	12,438 9位
11	消化器系の疾患	26,408 8位	23,734 7位	21,600 7位	24,483 6位
12	皮膚及び皮下組織の疾患	5,502 14位	3,420 14位	5,811 11位	3,774 13位
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	61,623 4位	94,338 2位	17,487 9位	38,555 3位
14	尿路性器系の疾患	34,005 7位	15,414 9位	71,109 3位	31,386 4位
15	妊娠、分娩及び産じょく	0 17位	0 17位	0 18位	1 18位
16	周産期に発生した病態	0 17位	0 17位	0 18位	0 19位
17	先天奇形、変形及び染色体異常	0 17位	0 17位	10 17位	14 17位
18	症状、徴候及び異常臨床検査所見 で他に分類されないもの	11,832 10位	13,136 10位	3,399 14位	3,559 14位
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	42,662 5位	70,729 3位	4,279 12位	4,134 12位
合計		560,699 -	507,648 -	406,036 -	301,439 -

※ 傷病名不詳等の疾病分類できないレセプトは集計対象外としている。
出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析(大分類) (令和3年度～令和5年度)

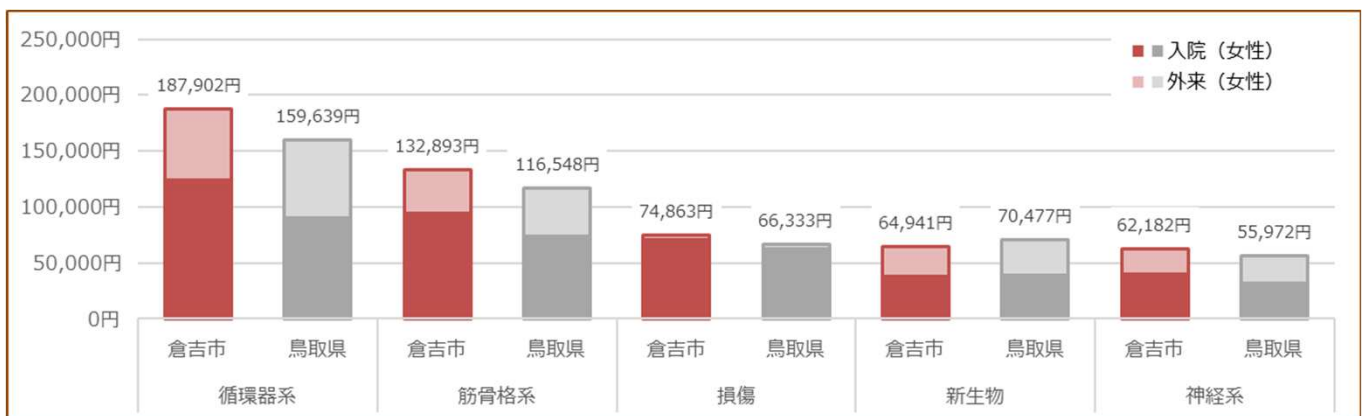
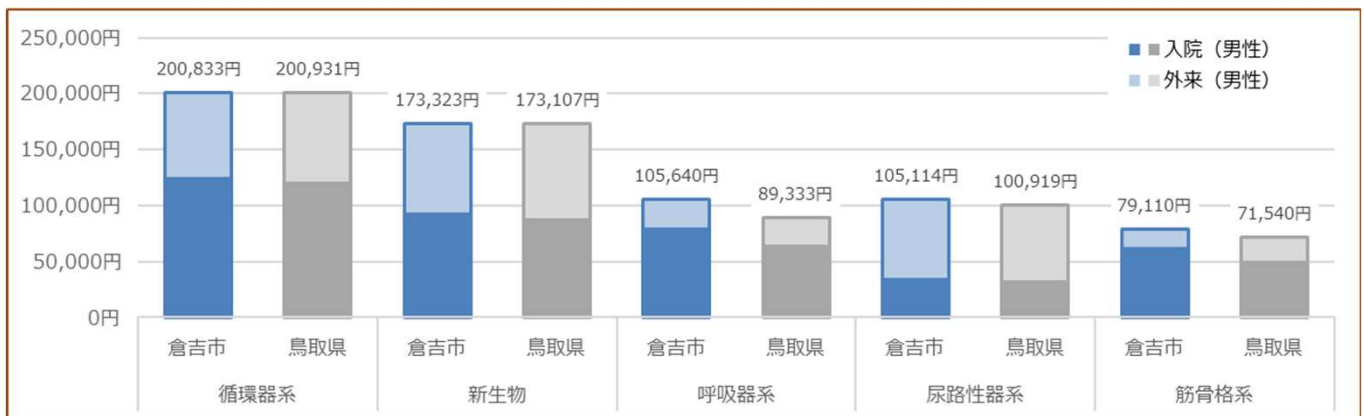
国保

疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費（上位5位）



後期

疾病大分類別被保険者 1 人当たり年間医療費（上位5位）



※傷病名不詳等の疾病分類できないレセプトは集計対象外としている。
出典:KDB帳票No.42 疾病別医療費分析（大分類）（令和3年度～令和5年度）

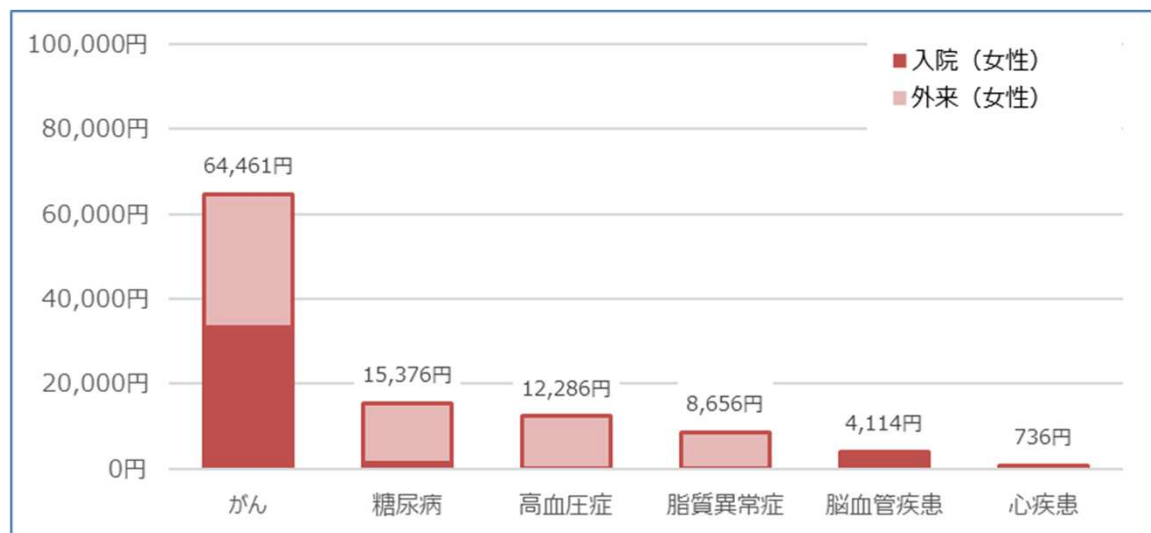
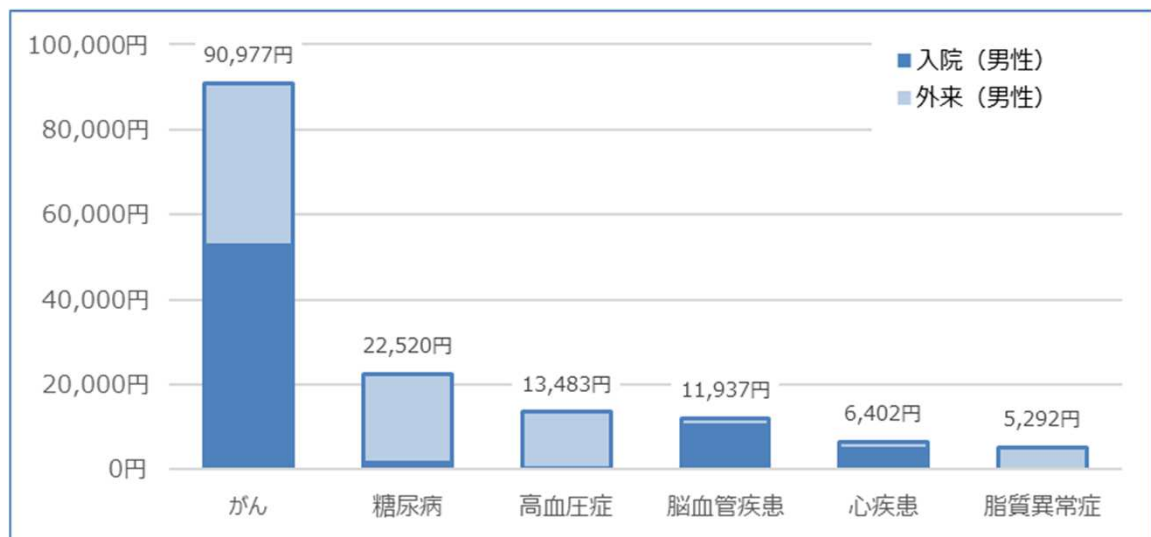
国保

生活習慣病別被保険者 1 人当たり年間医療費（入院、外来 + 調剤）（3年平均）

（単位:円）

生活習慣病	医科・入院				医科・外来 + 調剤			
	男性		女性		男性		女性	
高血圧症	342	5位	183	5位	13,141	3位	12,103	3位
糖尿病	1,574	4位	1,236	3位	20,946	2位	14,140	2位
脂質異常症	30	6位	43	6位	5,262	4位	8,613	4位
心疾患	4,846	3位	312	4位	1,556	5位	424	6位
脳血管疾患	10,503	2位	3,395	2位	1,434	6位	719	5位
がん	52,582	1位	33,414	1位	38,395	1位	31,047	1位

出典:KDB帳票No.45 疾病別医療費分析（生活習慣病）（令和3年度～令和5年度累計）



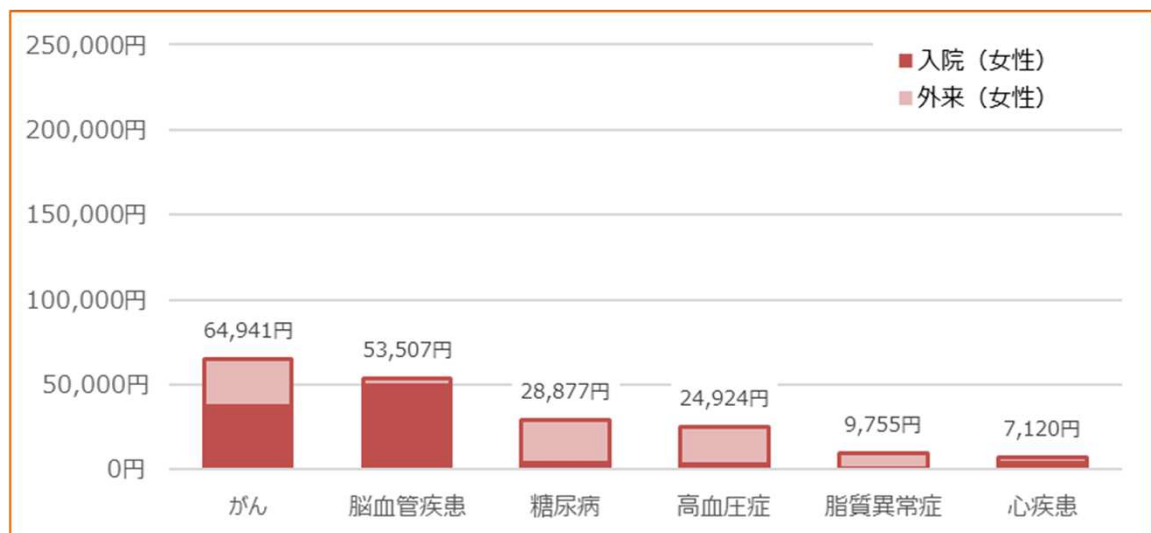
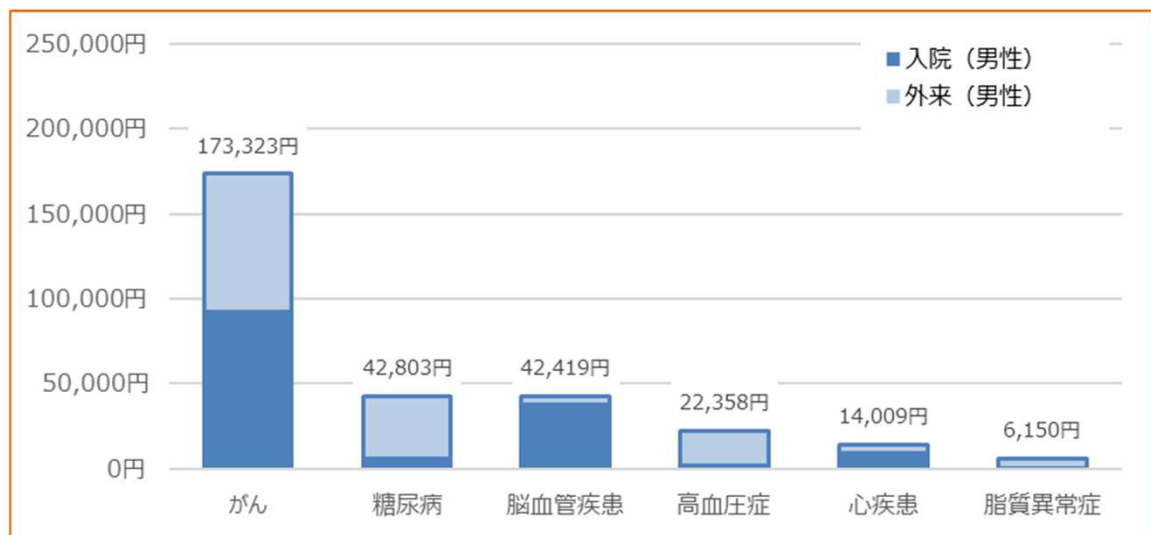
後期

生活習慣病別被保険者 1 人当たり年間医療費（入院、外来 + 調剤）（3年平均）

（単位:円）

生活習慣病	医科・入院				医科・外来 + 調剤			
	男性		女性		男性		女性	
高血圧症	1,755	5位	2,708	5位	20,603	3位	22,216	3位
糖尿病	5,927	4位	3,688	4位	36,876	2位	25,189	2位
脂質異常症	253	6位	317	6位	5,897	4位	9,438	4位
心疾患	9,298	3位	4,235	3位	4,711	6位	2,885	6位
脳血管疾患	37,276	2位	49,545	1位	5,143	5位	3,962	5位
がん	92,416	1位	37,434	2位	80,907	1位	27,507	1位

出典:KDB帳票No.45 疾病別医療費分析（生活習慣病）（令和3年度～令和5年度累計）



国保 疾病中分類別被保険者 1 人当たり医療費（上位10位）（3 年平均）

■【男性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	10,101
2	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	7,487
3	脳梗塞	7,108
4	虚血性心疾患	5,344
5	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	5,141
6	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	4,844
7	脊椎障害（脊椎症を含む）	4,743
8	骨折	4,718
9	腎不全	4,646
10	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	4,608

■【男性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	腎不全	29,233
2	糖尿病	21,013
3	高血圧性疾患	13,141
4	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	10,771
5	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	7,275
6	脂質異常症	5,262
7	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	4,595
8	喘息	4,064
9	炎症性多発性関節障害	3,122
10	ウイルス性肝炎	2,873

■【女性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	関節症	8,065
2	骨折	7,468
3	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	6,164
4	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	5,596
5	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	4,628
6	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	4,256
7	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	3,702
8	くも膜下出血	3,655
9	悪性リンパ腫	3,618
10	腎不全	3,264

■【女性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	糖尿病	14,433
2	高血圧性疾患	12,103
3	腎不全	11,779
4	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	11,080
5	脂質異常症	8,613
6	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	6,927
7	炎症性多発性関節障害	6,013
8	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	4,992
9	骨の密度及び構造の障害	4,863
10	喘息	4,392

後期 疾病中分類別被保険者 1 人当たり医療費（上位10位）（3 年平均）

■【男性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	脳梗塞	30,655
2	肺炎	29,418
3	骨折	26,857
4	腎不全	23,681
5	脊椎障害（脊椎症を含む）	14,900
6	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの	11,832
7	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	11,763
8	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	11,170
9	虚血性心疾患	10,589
10	アルツハイマー病	10,159

■【男性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	腎不全	54,888
2	糖尿病	37,293
3	高血圧性疾患	20,603
4	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	20,001
5	慢性閉塞性肺疾患	11,362
6	喘息	7,454
7	虚血性心疾患	5,957
8	脂質異常症	5,897
9	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	5,464
10	前立腺肥大（症）	5,068

■【女性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	骨折	57,658
2	脳梗塞	42,342
3	骨の密度及び構造の障害	20,157
4	肺炎	20,028
5	関節症	17,955
6	アルツハイマー病	13,207
7	症状、徴候及び異常臨床所見・異常、検査所見で他に分類されないもの	13,136
8	脊椎障害（脊椎症を含む）	12,855
9	腎不全	8,835
10	パーキンソン病	8,807

■【女性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費
1	糖尿病	25,711
2	腎不全	22,464
3	高血圧性疾患	22,216
4	骨の密度及び構造の障害	17,678
5	脂質異常症	9,438
6	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	8,289
7	アルツハイマー病	6,765
8	関節症	6,608
9	パーキンソン病	6,198
10	炎症性多発性関節障害	5,922

国保 被保険者 1 人当たり年間医療費及び被保険者千人当たりレセプト件数（3 年平均）

■【男性】入院（医科）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	9,050	22.6
2	直腸 S 状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	7,255	7.3
3	脳梗塞	6,787	7.9
4	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	4,990	4.2
5	虚血性心疾患	4,750	4.1
6	脊椎障害（脊椎症を含む）	4,631	4.3
7	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	4,514	10.2
8	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	4,364	5.0
9	骨折	4,348	4.6
10	腎不全	4,213	5.2

■【女性】入院（医科）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	関節症	7,913	7.1
2	骨折	7,143	8.3
3	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	5,931	14.1
4	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	5,339	6.4
5	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	4,457	6.0
6	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	3,949	8.8
7	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	3,687	5.4
8	くも膜下出血	3,631	2.0
9	悪性リンパ腫	3,601	2.5
10	腎不全	3,058	3.7

■【男性】外来（医科+調剤）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	腎不全	27,512	66.4
2	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	9,729	11.0
3	白血病	1,771	3.4
4	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	1,518	1.9
5	直腸 S 状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	1,199	2.0
6	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	1,186	2.4
7	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	1,124	1.1
8	ウイルス性肝炎	1,049	0.6
9	皮膚炎及び湿疹	718	1.1
10	炎症性多発性関節障害	418	1.2

■【女性】外来（医科+調剤）（単位:円）

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	腎不全	10,889	26.9
2	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	7,691	15.4
3	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	3,519	4.4
4	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	1,454	2.5
5	炎症性多発性関節障害	1,346	3.4
6	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	1,004	1.5
7	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	958	1.3
8	悪性リンパ腫	689	0.9
9	喘息	279	0.8
10	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	241	0.6

※30万円以上のレセプトを集計対象とする。

出典:KDB帳票No.10 基準額以上となったレセプト一覧（令和3年度～令和5年度）

後期 被保険者 1 人当たり年間医療費及び被保険者千人当たりレセプト件数（3 年平均）

■【男性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	脳梗塞	29,250	38.7
2	肺炎	27,598	42.2
3	骨折	25,939	28.7
4	腎不全	22,216	27.4
5	脊椎障害（脊椎症を含む）	14,311	14.6
6	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	11,361	11.7
7	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	10,526	10.2
8	アルツハイマー病	9,692	19.6
9	パーキンソン病	9,684	14.3
10	虚血性心疾患	9,401	10.1

■【女性】入院（医科） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	骨折	55,590	63.4
2	脳梗塞	40,578	52.7
3	肺炎	18,881	28.0
4	骨の密度及び構造の障害	18,798	25.5
5	関節症	17,178	18.9
6	アルツハイマー病	12,408	23.2
7	脊椎障害（脊椎症を含む）	12,295	15.0
8	パーキンソン病	8,342	11.9
9	腎不全	8,147	9.7
10	脳内出血	7,020	9.8

■【男性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	腎不全	47,049	115.9
2	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	17,356	24.0
3	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	2,993	3.1
4	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	2,899	4.4
5	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	1,814	2.6
6	悪性リンパ腫	1,632	1.6
7	喘息	1,260	3.0
8	白血病	1,004	1.3
9	炎症性多発性関節障害	649	1.7
10	ウイルス性肝炎	512	0.4

■【女性】外来（医科+調剤） (単位:円)

順位	疾病中分類	医療費	レセプト件数
1	腎不全	17,126	43.3
2	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	7,393	8.6
3	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	2,700	5.9
4	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	1,786	1.7
5	炎症性多発性関節障害	1,341	3.4
6	ウイルス性肝炎	1,048	0.6
7	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	903	1.2
8	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	524	0.8
9	白血病	469	1.1
10	喘息	307	0.8

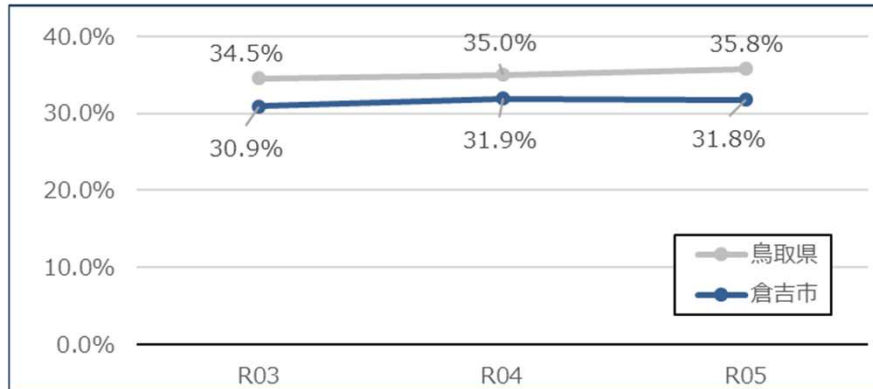
※30万円以上のレセプトを集計対象とする。

出典:KDB帳票No.10 基準額以上となったレセプト一覧（令和3年度～令和5年度）

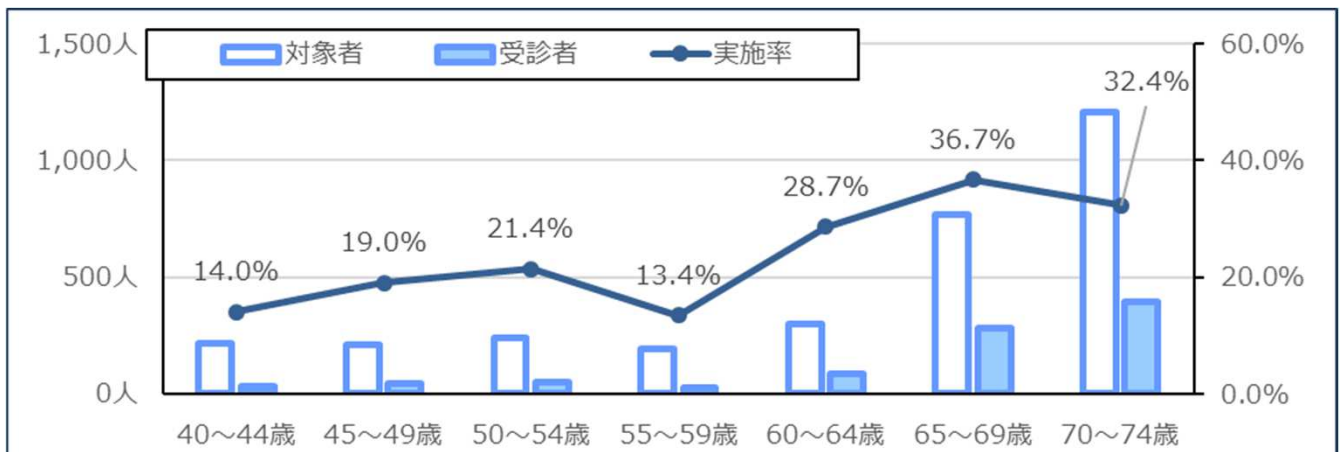
4. 健康診査の状況

国保 特定健康診査実施率

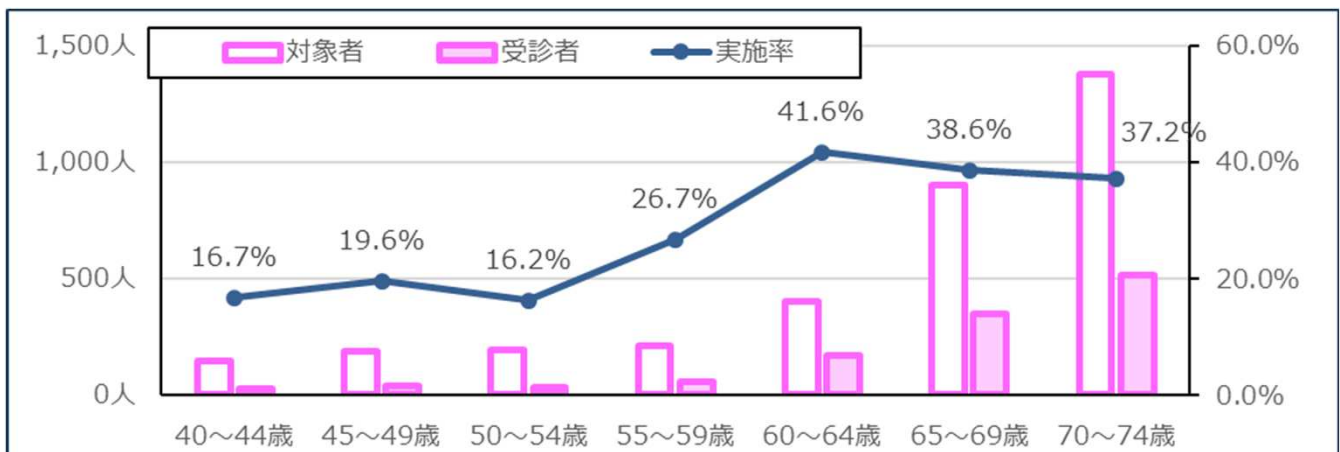
年度	対象者数	受診者数	実施率	(参考) 県実施率	(参考) 国実施率
R03	7,354人	2,273人	30.9%	34.5%	36.4%
R04	6,957人	2,221人	31.9%	35.0%	37.5%
R05	6,537人	2,077人	31.8%	35.8%	－



国保 【男性】年齢階層別特定健康診査実施率の状況（令和5年度）



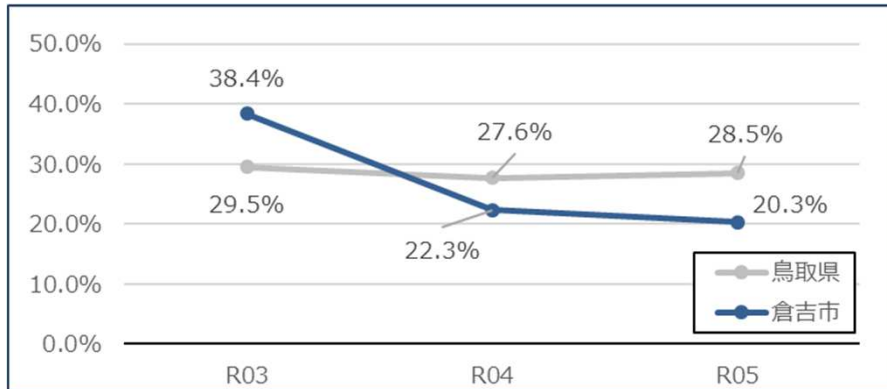
国保 【女性】年齢階層別特定健康診査実施率の状況（令和5年度）



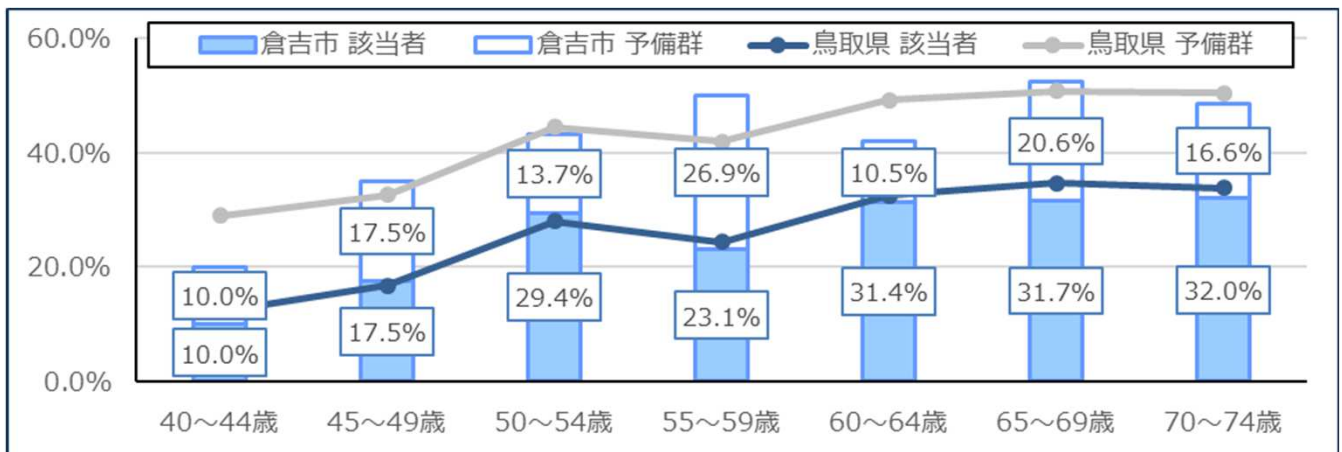
出典：特定健診データ管理システム法定報告資料（各年度）
国実施率は、厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」を参照

国保 特定保健指導実施率

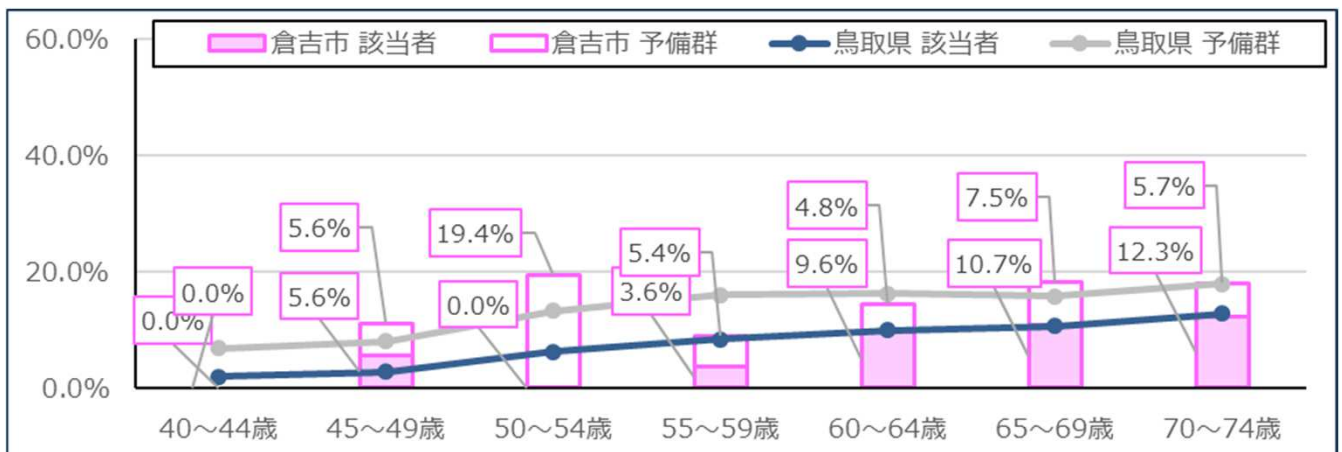
年度	対象者数	受診者数	実施率	(参考) 県実施率	(参考) 国実施率
R03	245人	94人	38.4%	29.5%	27.9%
R04	238人	53人	22.3%	27.6%	28.8%
R05	217人	44人	20.3%	28.5%	—



国保 【男性】年齢階級別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（令和5年度）



国保 【女性】年齢階級別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合（令和5年度）



出典：特定健診データ管理システム法定報告資料（各年度）
 国実施率は、厚生労働省の「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」を参照

国保

特定健診の質問票回答状況

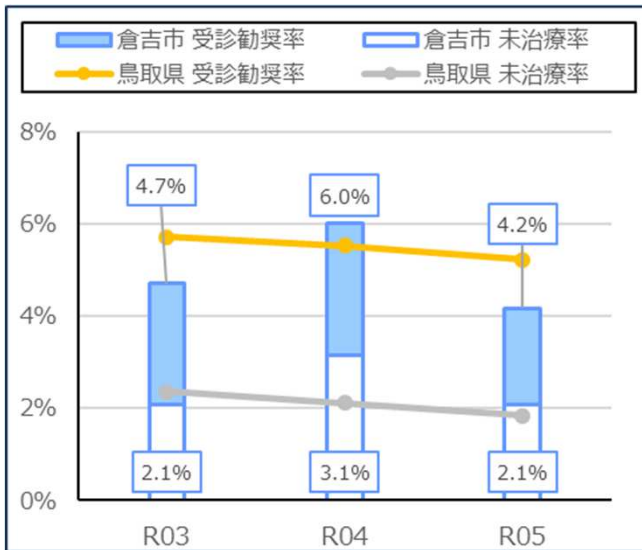
特定健診の質問票		男性		女性	
		倉吉市	標準化比	倉吉市	標準化比
服薬	高血圧症	40.8%	92.1	32.1%	99.5
	糖尿病	9.7%	*75.5	4.6%	*72.4
	脂質異常症	24.0%	92.0	33.2%	100.9
既往歴	脳卒中	4.2%	90.0	3.1%	137.8
	心臓病	6.3%	*74.7	3.4%	91.9
	慢性腎臓病・腎不全	1.4%	121.1	0.5%	82.2
	貧血	2.9%	*60.1	18.8%	*122.6
喫煙	喫煙	19.5%	89.7	3.7%	*67.0
体重変化	20歳時体重から10kg以上増加	39.5%	*88.5	23.5%	88.8
運動	1回30分以上の運動習慣なし	61.5%	*109.2	68.7%	*112.6
	1日1時間以上運動なし	57.9%	*119.2	61.3%	*131.4
	歩行速度遅い	57.7%	*114.6	59.0%	*116.3
食習慣	食べる速度が速い	30.5%	102.2	24.4%	104.6
	食べる速度が普通	57.7%	92.6	66.1%	96.1
	食べる速度が遅い	11.8%	*150.0	9.5%	120.1
	週3回以上就寝前夕食	19.5%	98.3	11.5%	112.8
	週3回以上朝食を抜く	10.4%	87.8	5.7%	79.8
飲酒	毎日飲酒	45.6%	110.0	10.7%	90.8
	時々飲酒	22.2%	94.4	21.6%	97.8
	飲まない	32.2%	91.9	67.7%	102.4
	1日飲酒量（1合未満）	47.5%	101.5	84.6%	102.4
	1日飲酒量（1～2合）	35.3%	104.9	12.6%	92.5
	1日飲酒量（2～3合）	14.8%	96.4	2.5%	82.6
	1日飲酒量（3合以上）	2.5%	*58.0	0.3%	42.9
睡眠	睡眠不足	25.2%	108.0	28.1%	102.9
行動変容	改善意欲なし	33.0%	103.2	22.3%	91.5
	改善意欲あり	30.2%	*115.3	34.0%	*116.0
	改善意欲ありかつ始めている	9.6%	*79.6	9.0%	*60.5
	取り組み済み6ヶ月未満	7.9%	99.5	11.3%	116.8
	取り組み済み6ヶ月以上	19.4%	88.5	23.4%	107.7
保健指導	保健指導利用しない	63.5%	96.2	57.5%	92.8
口腔機能	咀嚼_何でも	74.0%	96.3	76.8%	95.5
	咀嚼_かみにくい	23.8%	108.7	23.1%	*121.2
	咀嚼_ほとんどかめない	2.2%	*179.4	0.1%	19.4
食習慣	3食以外間食_毎日	16.5%	116.3	34.8%	*126.3
	3食以外間食_時々	54.4%	95.9	52.2%	*89.1
	3食以外間食_ほとんど摂取しない	29.1%	100.1	13.0%	93.7

※全国と比較をした時の年齢調整後の標準化比（間接法）を表示している。
 ※「*」は、全国に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。

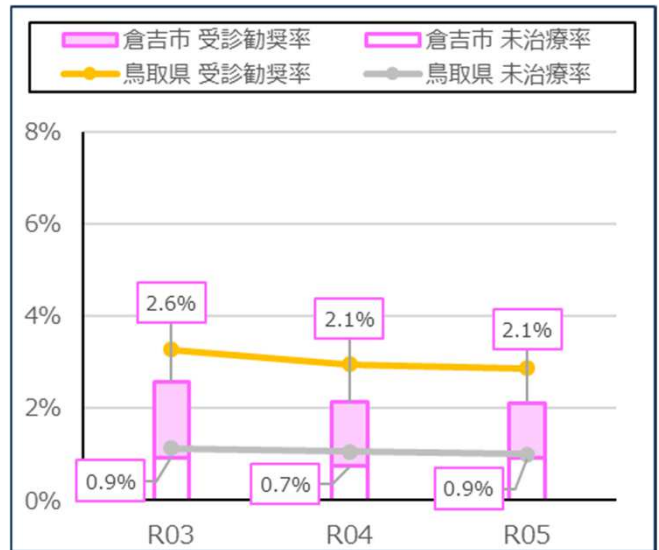
出典：KDB帳票No.6 質問票調査の状況（令和5年度）

国保 特定健診異常値受診勧奨者および未治療者の割合

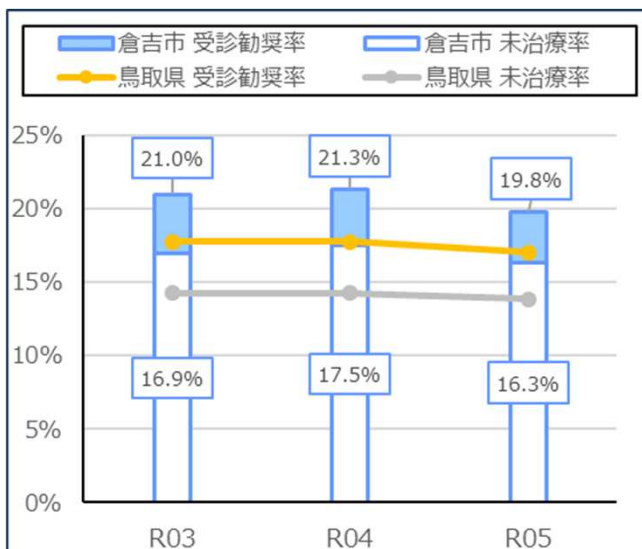
■【男性】（血糖）



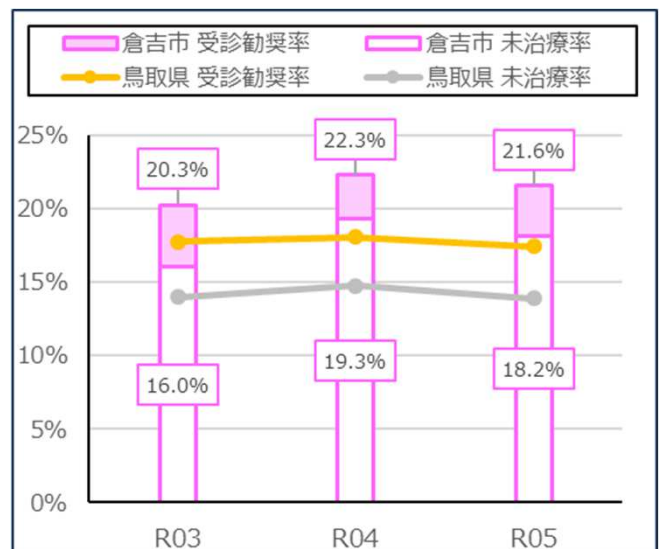
■【女性】（血糖）



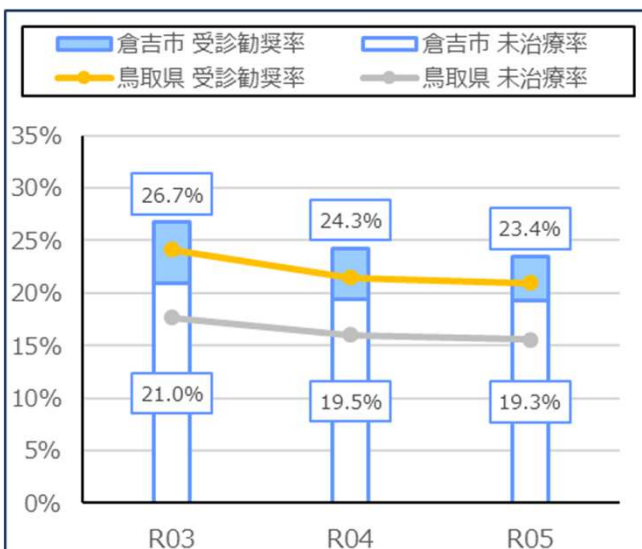
■【男性】（血圧）



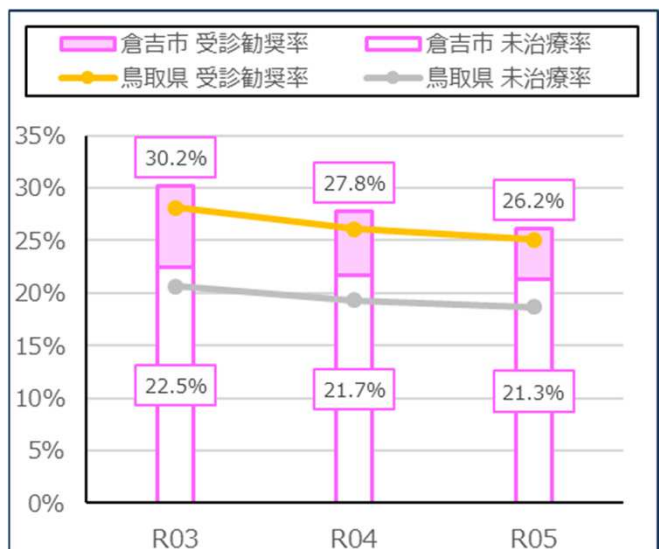
■【女性】（血圧）



■【男性】（脂質）



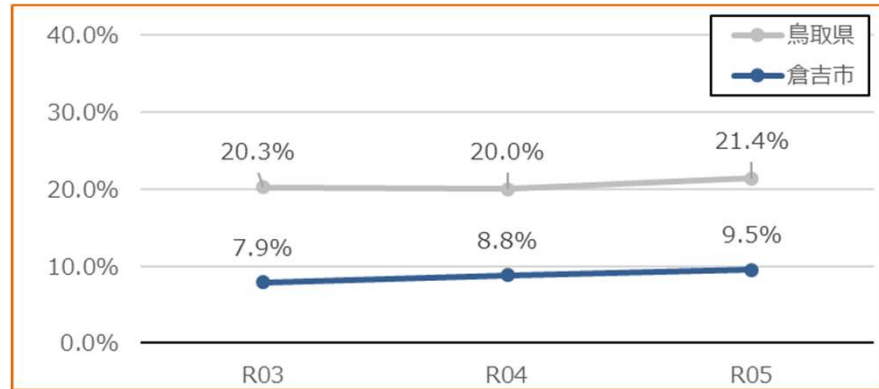
■【女性】（脂質）



※異常値受診勧奨者・未治療者：健診結果が受診勧奨判定であり、質問票から服薬がない者、また、そのうち未治療の者
出典:KDB帳票No.76 介入支援対象者一覧表（栄養・重症化予防等）（各年度）

後期 後期高齢者医療健康診査実施率

年度	対象者数	受診者数	実施率	(参考) 県実施率
R03	8,006人	633人	7.9%	20.3%
R04	8,198人	722人	8.8%	20.0%
R05	8,448人	801人	9.5%	21.4%



出典:KDB帳票No.4 市区町村別データ (各年度累計)

後期 後期高齢者の質問票回答状況

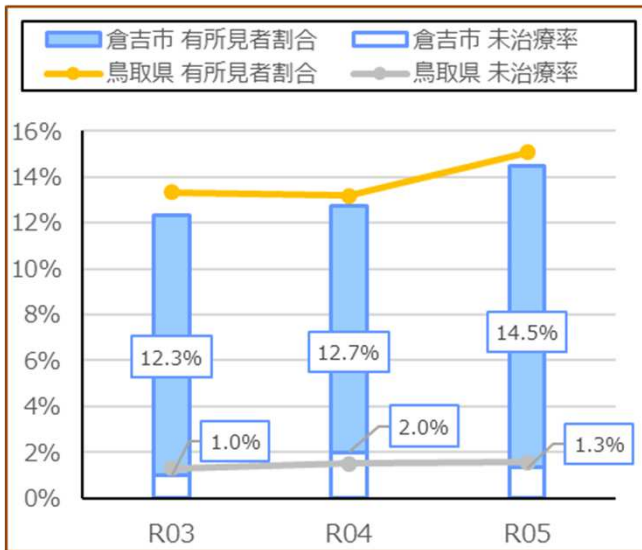
後期高齢者の質問票		男性		女性	
		倉吉市	標準化比	倉吉市	標準化比
健康状態	よい	17.3%	*64.6	15.9%	*70.6
	まあよい	19.2%	100.3	13.8%	81.0
	ふつう	51.8%	113.6	58.5%	*115.0
	あまりよくない	10.9%	*143.8	10.4%	120.3
	よくない	0.8%	86.2	1.4%	148.2
心の健康状態	満足	42.9%	86.1	40.6%	88.3
	やや満足	49.0%	116.0	49.4%	108.1
	やや不満	7.8%	112.4	9.5%	130.0
	不満	0.3%	29.0	0.5%	47.7
食習慣	1日3食きちんと食べる	94.1%	99.9	96.5%	101.5
口腔機能	半年前に比べて固いものが食べにくい	23.4%	100.2	25.9%	99.3
	お茶や汁物等でむせる	18.4%	99.3	20.7%	99.8
体重変化	6ヵ月で2～3kg以上の体重減少	12.5%	107.8	11.6%	105.7
運動転倒	以前に比べて歩く速度が遅い	51.4%	97.2	55.8%	99.5
	この1年間に転んだ	14.5%	99.7	16.4%	92.2
	ウォーキング等の運動を週に1回以上	63.7%	95.0	62.1%	99.0
認知機能	同じことを聞くなどの物忘れあり	16.2%	121.2	11.6%	90.0
	今日の日付がわからない時あり	20.7%	99.6	22.3%	102.5
喫煙	吸っている	7.0%	71.3	0.9%	41.2
	吸っていない	40.1%	*80.6	97.2%	103.8
	やめた	52.9%	*130.8	1.8%	*45.3
社会参加	週に1回以上は外出	95.5%	102.5	94.9%	101.5
	家族や友人と付き合いがある	96.9%	103.8	98.2%	101.5
ソーシャルサポート	身近に相談できる人がいる	96.4%	102.4	97.7%	101.6

※全国と比較をした時の年齢調整後の標準化比（間接法）を表示している。
 ※「*」は、全国に比べて有意な差(p<0.05)があることを意味する。

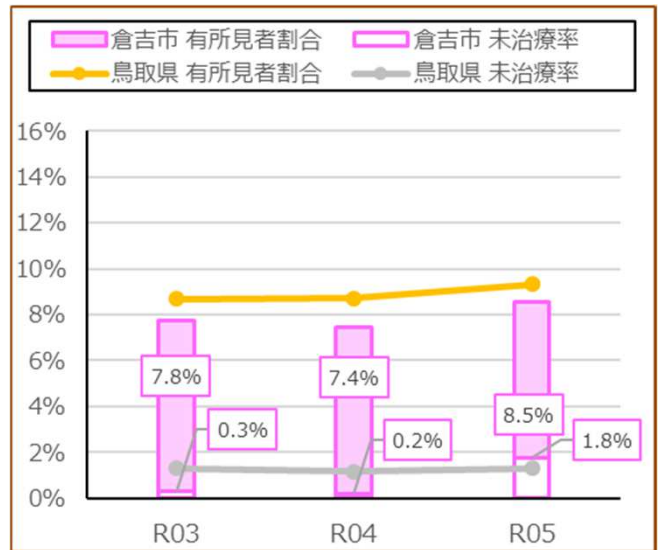
出典:KDB帳票No.6 質問票調査の状況 (令和5年度)

後期 健診有所見者および未治療者の割合

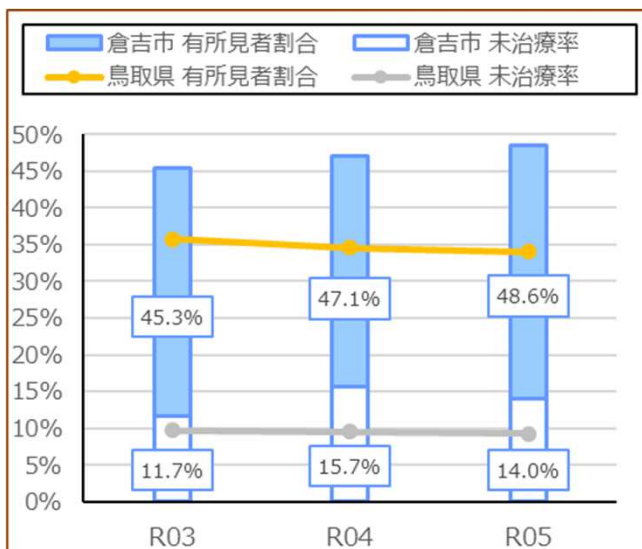
■【男性】（血糖）



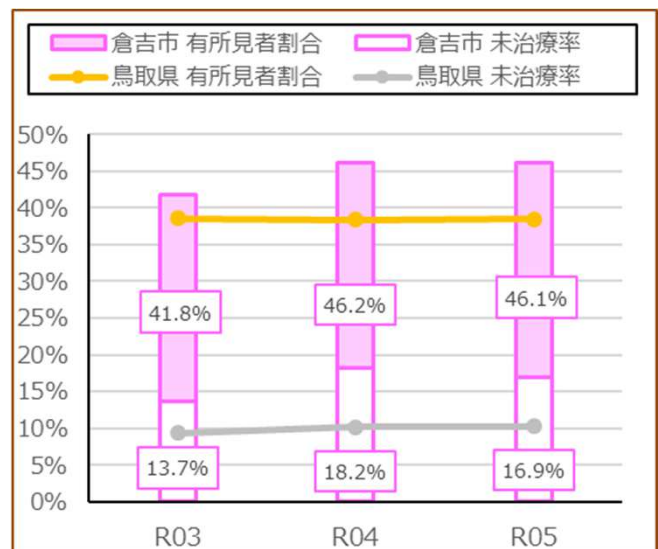
■【女性】（血糖）



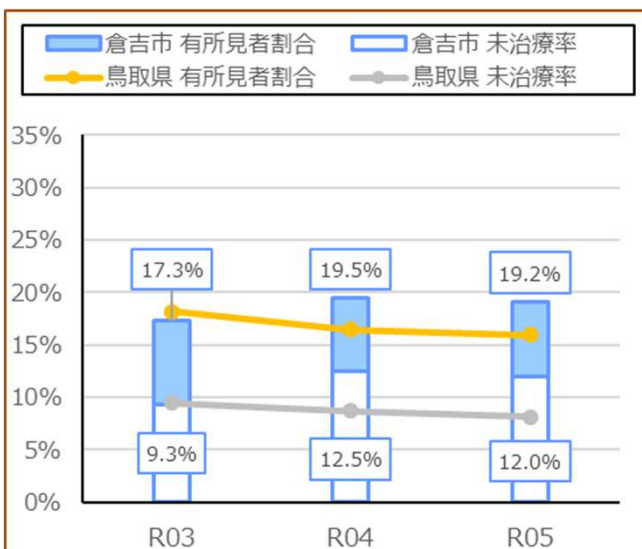
■【男性】（血圧）



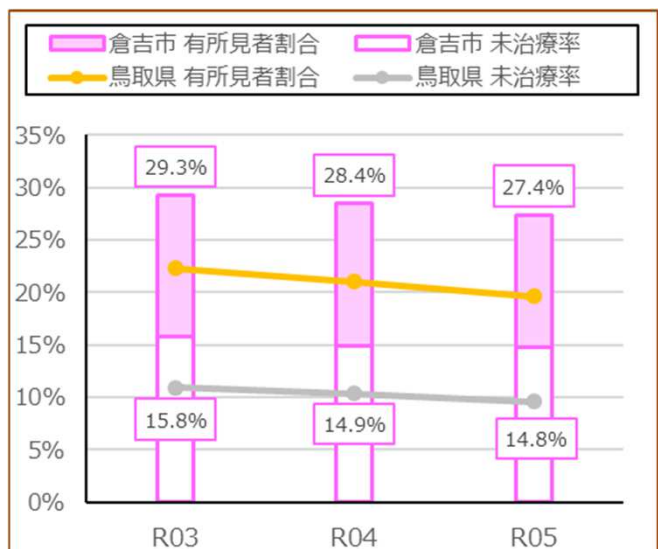
■【女性】（血圧）



■【男性】（脂質）



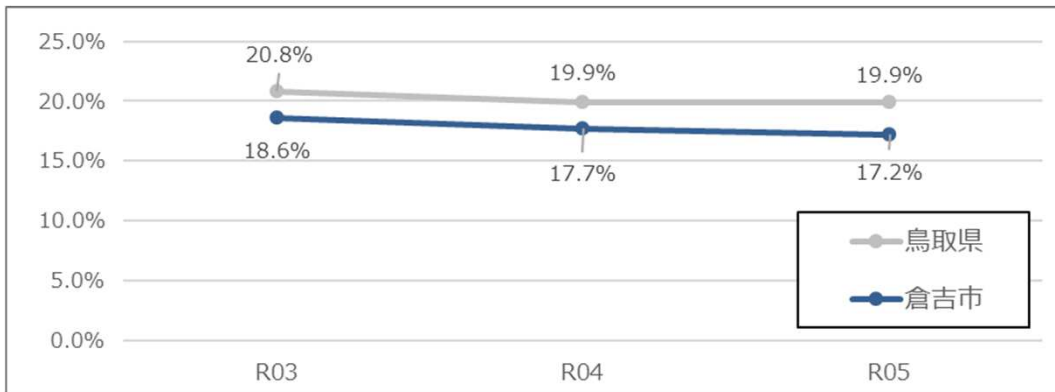
■【女性】（脂質）



※有所見者・未治療者：健診結果が受診勧奨判定である者、また、そのうち未治療の者
出典：KDB帳票No.76 介入支援対象者一覧表（栄養・重症化予防等）（各年度）

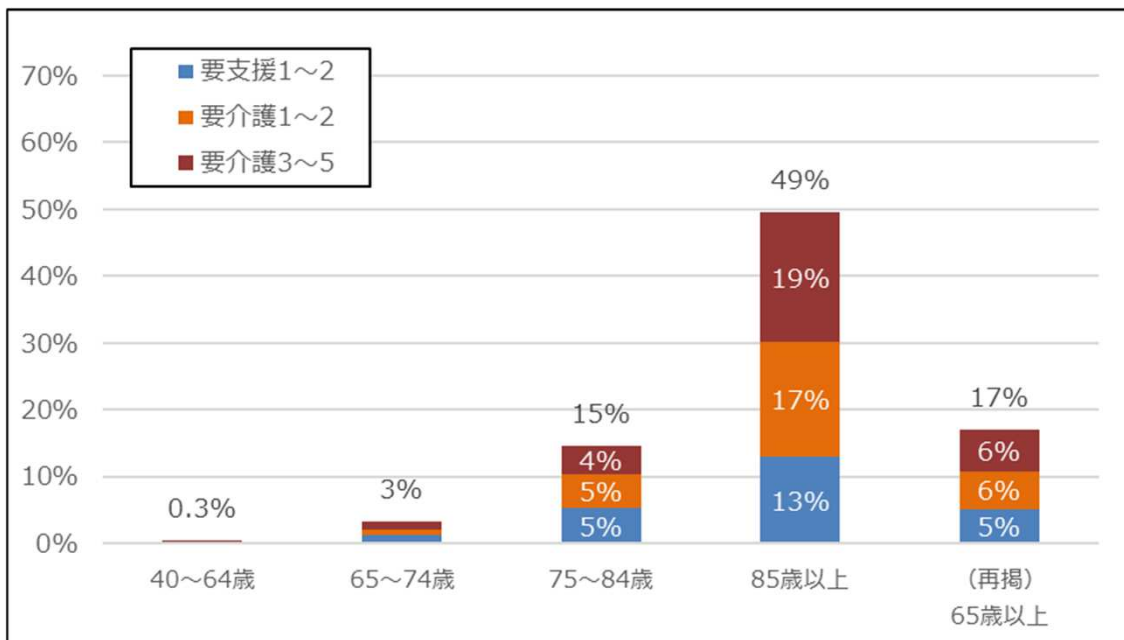
5. 介護の状況

■ 要介護認定率（年次推移）



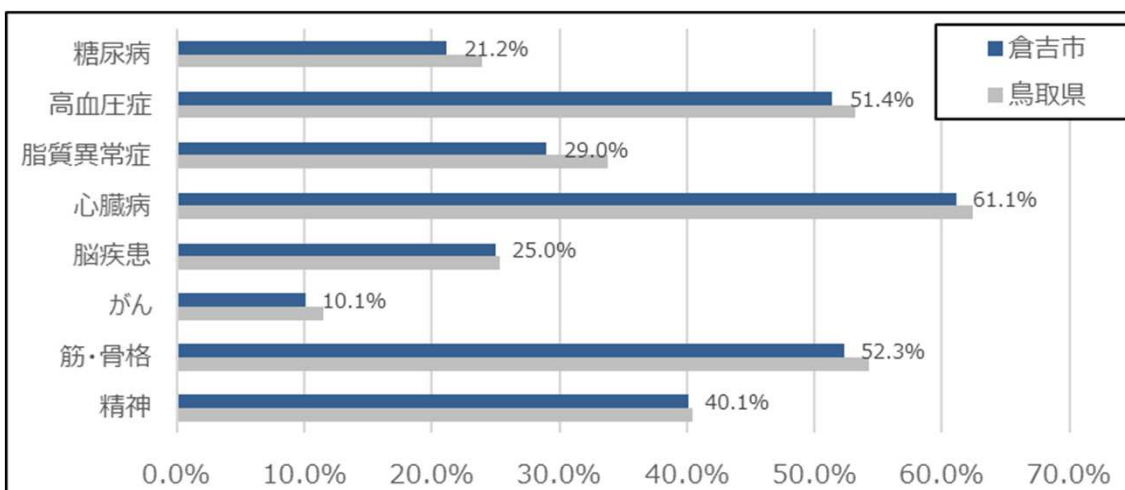
出典:KDB帳票No. 1 地域の全体像の把握 (各年度累計)

■ 年齢階層別要介護認定率



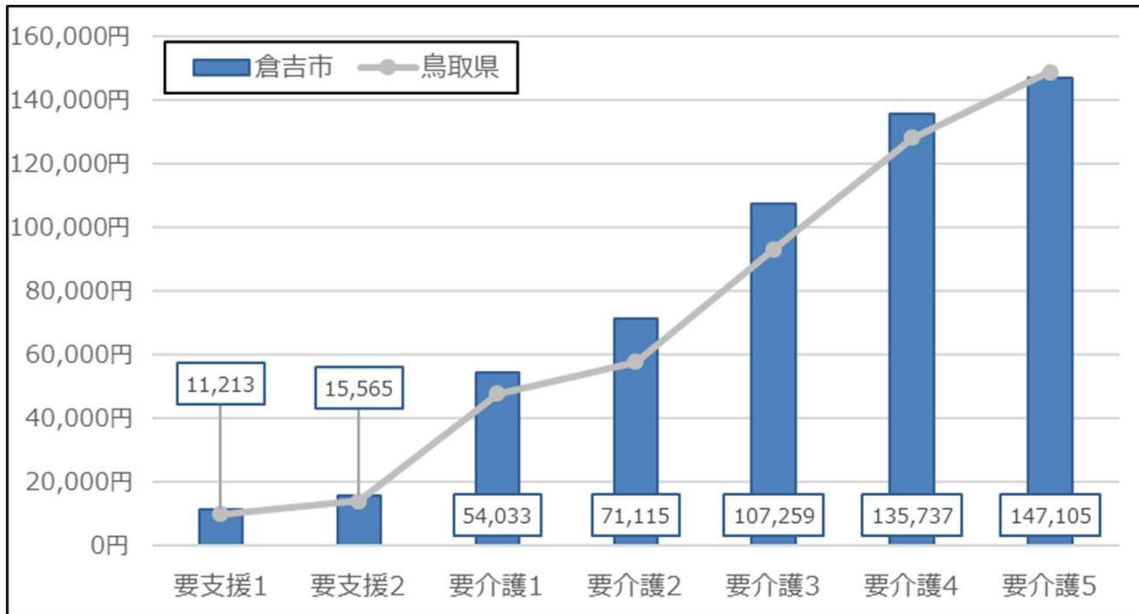
出典:KDB帳票No.47 要介護（支援）者認定状況(令和5年度)

■ 要支援・要介護認定者の有病状況



出典:KDB帳票No. 1 地域の全体像の把握 各年度(令和5年度)

■ 要介護度別 1 件当たり介護給付費



出典:KDB帳票No. 1 地域の全体像の把握 各年度(令和5年度)

6. まとめ

医療費の状況	・国保において、男女ともに新生物の医療費が最も高い。(市P.5) ・後期において、入院医療費は経年的に県平均より高い。(市P.6) ・後期において、男女ともに循環器系の医療費が高く、女性は筋骨格系の医療も高い。(市P.6) ・入院医療費において、国保・後期ともに女性は骨折が上位に入る。また、後期は男女とも脳梗塞・肺炎・骨折が上位に入る。(市P.10-11) ・外来医療費において、国保・後期ともに、腎不全・糖尿病・高血圧性疾患が上位に入る。(市P.10-11)
特定健康診査・ 特定保健指導の状況	・特定健診実施率は、男性は55～59歳、女性は50～54歳の実施率が最も低く、60歳未満の実施率が低い傾向にある。(市P.14) ・特定健診の健診未受診者かつ医療機関無受診者の割合が県内で2番目に高く、3年連続未受診者は県内で3番目に高い。(県P.48-49) ・特定健診の質問票において、男女ともに“運動習慣なし”、“3食以外間食 毎日”の標準化比が高く、“咀嚼 何でもかめる”の標準化比が低い。(市P.16) ・後期健診実施率が経年的に鳥取県より低く、県内で最も低い。(市P.18、県P.52)
介護の状況	・要介護認定率は経年的に県平均より低い。(市P.20) ・要介護度別1件当たり介護給付費は、要介護1～4が県平均よりやや高い。(P.21) ・新規要介護認定者において、脳卒中・認知症の有病率が県平均より高い(県P.69)
健康スコアリングから 見える課題、助言等	・国保・後期ともに血圧リスクが県平均より高い。また、国保は血糖・運動習慣のリスク、後期は脂質・肝機能リスクが県平均より高い。(県P.72-76) そのため、運動習慣の定着化による生活習慣病重症化予防対策・フレイル対策の推進が必要であると考えられる。併せて、健康状態不明者に対する健康状態の把握も重要であると考えます。